



神奈川県東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

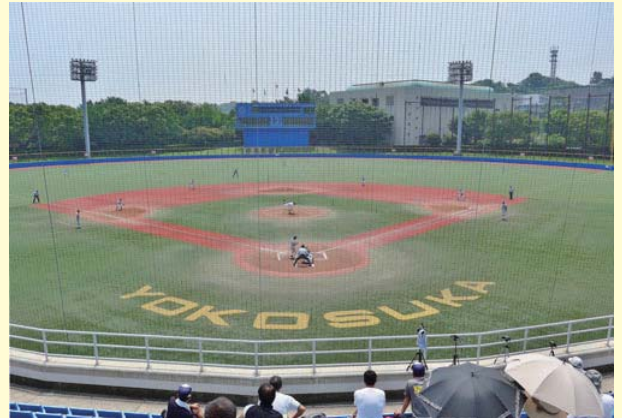
DISTRICT 2590/CHARTERED MAY 29-1976/WEEKLY BULLETIN

2014-2015年度 R I 会長 ゲイリー C.K. ホアン



第2590地区 ガバナー
大野 清一

- 会長 山田 正憲
- 会長エレクト 江森 国一
- 副会長 天野 公史
- 副会長 鴻 義久
- 幹事 植田 清司
- 副幹事 朝日 達夫
- 会計 渡邊 淳
- 副会計 白井 康夫
- S A A 小山市 康
- 副 S A A 長井 章
- 副 S A A 青柳 紀
- クラブ会報 竹山 洋



写真提供 小池将夫会員

事務局 ホテルキャメロットジャパン内 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
TEL : 045-314-3900 FAX : 045-314-3555

例会日 毎週金曜日 0 : 30 ~ 1 : 30 PM (第5金曜日 6 : 00 PM)

例会場 ホテルキャメロットジャパン

創立記念日 昭和 51 年 5 月 29 日

URL <http://www.kanagawahigashi.com/>

E-mail kerc@beach.ocn.ne.jp

2014-2015年度 第5週報 No. 1846 2014年(平成26年) 8月1日 第1846回例会記録 8月8日発行

司会 朝日 達夫 副幹事

点鐘 山田 正憲 会長

斉唱 「君が代」 「奉仕の理想」

四つのテスト 吉田 隆男 職業奉仕副委員長
(第1例会のみ)

ゲスト紹介 野村 弘樹 様 (ゲストスピーカー)
伊藤 主峰 様 (R 青少年交換学生)

ビジター紹介 横浜 R.C 大西 晴之 様

特別行事

R 青少年交換学生 伊藤 主峰 様 ご挨拶



本日〈8月8日〉のプログラム

- ◆ 斉唱 「我等の生業」
- ◆ 献立 海老カレー
- ◆ 卓話 「世界的美港都市横浜をめざして」
(株)システムシーツ 一級建築士 近藤 裕之 様
(紹介者 天野 公史 会員)

<< 本日の B G M >>

「ブルー・ハワイ、ひき潮、マナクラの月 外」

誕生日祝

植田 清司 会員 (8月6日)



新しい読者も多い8～9月号は恒例企画として、基礎知識シリーズが掲載されることになっております。公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、日本のロータリーが協同で運営する奨学財団です。財源はすべて会員の寄付で成り立っています。

特に新会員のみなさまに知って頂きたい「よねやま」の基本情報が掲載されております。自ら行った寄付の用途について、少しでもご理解頂ければ幸いです。

出席報告

西山 潔 出席委員長

会員総数	56名	(34+22)名	
出席会員数	44名	(28+16)名	
出席率	88.00%		
ゲスト	2名	ビジター	1名
前回補正後	88.00%	前々回補正後	91.67%

会長報告

山田 正憲 会長

・山本登会員がポール・ハリス・ソサエティの創立会員として登録を完了されたとのことで、R財団よりバッジが届いておりますのでお渡しします。



スマイルボックス

小山 市康 SAA

横浜R.C 大西晴之様 本日はお世話になります。

植田清司君 ①誕生日祝い、ありがとうございます。②伊藤主峰君、いよいよエクアドルへの出発の日が近づいて来ましたね。気を付けて行ってらっしゃい。

山田正憲君 ①野村弘樹様、本日のお話し、楽しみにしています。②伊藤君、体に気を付けてエクアドルでの生活を楽しんで来て下さい。

富居利貞君 クラブより区老人クラブ連合会主催の手づくり運動会のご寄付を頂戴しました。御礼申し上げます。また、山木さん、石川さん、月山さん、友添さん、各会員には過分なるご支援頂き、誠にありがとうございます。

山本 登君 子犬が来ました。下の世話で振り回されています。

飯田泰之君 横浜R.Cの大西様、ようこそいらっしゃいました。

伊東英紀君 青少年交換学生の伊藤君、ようこそ。健康に気を付けて、気楽に一年間を過ごして下さい。

佐藤勝彦君 ①先日の友和会コンペ幹事の赤堀さん、友添さん、ご一緒した鴻さん、田中さん、岡部さん、皆様お疲れ様でした。お世話になりました。②野村様、卓話ヨロシクです。楽しみにしております。

大河原理様 昨夜、孫が生まれました。

小山市康君 猛暑日や寝苦しい熱帯夜がしばらく続きます。この素晴らしい夏を満喫しましょう！！

幹事報告

植田 清司 幹事

・次週、例会終了後に8月度定例理事会を開催します。

委員会報告

雑誌委員会 委員長 白井 康夫

雑誌委員長の白井でございます。前回は引き続きまして雑誌委員会報告を行わせて頂きます。

「ロータリーの友」8月号の32、33ページによねやまだよりとして、ロータリー米山記念奨学事業の基礎知識が掲載されております。今月号は奨学金制度編、来月号は寄付金・財政編となっております。

8月1日	9件	24,000円
本年度累計		248,580円

「我が野球人生～球道即人道～」

元 横浜ベイスターズ投手・現 野球解説者 野村 弘樹 様
(紹介者 佐藤 勝彦 会員)



【略歴】

1969年6月30日生まれ。広島県出身。左投左打。小2の時に、父親の勧めで野球を始める。87年には、名門・PL学園高のエースとして、甲子園春夏連覇を達成した。88年、ドラフト3位で大洋ホエールズ(現・横浜ベイスターズ)に入団。背番号21。10月には、プロ初登板で初完封勝利。93年、最多勝利(17勝)を獲得。98年の日本シリーズ第1戦では、先発投手を務めた上に自ら2塁打2本の活躍で、チームの日本一へ弾みをつけた。2002年現役引退後、湘南シーレックスの投手コーチに就任。翌年は、横浜ベイスターズの投手コーチとして、チームを4年ぶりのAクラスに導いた。2006年シーズンから、ニッポン放送、サンケイスポーツで、野球評論家を務める。

【主な競技歴】

- 1977年 広島中央リトルリーグ入団
- 1978年 広島ジャガーズ(ボーイズ・リーグ)に移籍
- 1985年 中学卒業と同時に広島ジャガーズを退団
PL学園高入学
- 1987年 第59回選抜高等学校野球大会 優勝
第69回全国高等学校野球選手権大会 優勝
※春夏連覇達成
- 1988年 ドラフト3位で大洋ホエールズ(現・横浜ベイスターズ)
入団
10月 プロ初登板で初先発、初完封、初勝利、無四球試合を達成
- 1993年 最多勝利賞のタイトル獲得(17勝)
- 1998年 13勝8敗の成績で、チームのセリーグ優勝、38年ぶりの日本一に貢献
- 1999年 左肘の遊離軟骨除去手術を受ける
- 2002年 現役引退

- 2003～05年 横浜ベイスターズ 投手コーチ
- 2007～10年 横浜ベイスターズ 投手コーチ

◎通算成績 301 試合 101 勝 88 敗 防御率 4.01

【現在の活動】

- <ラジオ> ニッポン放送 野球解説
- <新聞> サンケイスポーツ 専属評論家
- <テレビ> フジテレビ「すぽると!」野球解説
TVKプロ野球中継「熱烈ベイスターズLIVE!!」

ロータリーニュース

大きな前進を見せるナイジェリアでのポリオ撲滅活動

パキスタン、アフガニスタンとともに、野生ポリオウイルスの伝播が未だ続くナイジェリア。そのナイジェリアで現在、ポリオ撲滅活動が大きな進展を見せています。

7月現在、今年のポリオ発症件数は5件と、昨年同時期の24件から大幅に減少しています。この進展の裏には、ロータリアンによる粘り強い努力があります。

これまで手の届かなかった場所へ

「ロータリアンは、車、カヌー、バイク、時には徒歩で、国内のこれまで手の届いていなかった地域に足を運んできました」

こう話すのは、ナイジェリアのポリオプラス委員長、ツンジ・フンショさんです。

北部のカツィナ州では、最近、ナイジェリアのポリオプラス委員会メンバーが、これまで予防接種に強く反対してきた2つの地域のリーダーと面会しました。宗教的な理由と、基本的医療の不足に異議を申し立てる意味で予防接種に反対してきたこれらの地域ですが、委員会メンバーが政府に掛け合い、移動式医療キャンプを手配することで、無料の健康診断、医薬品、予防接種、その他の医療サービスを提供できることを説明しました。粘り強く説得するうちに、彼らの考え方が変わり、結果として医療キャンプと予防接種を同時に実施、このキャンプに大勢の人たちが来たこと、家庭や学校で子どもたちに予防接種を受けさせることを容認してくれた親の姿を見られたことは、活動の大きな原動力となったと、委員会は報告しています。カツィナ州のような高リスク地域では、地域のリーダーが自分の子どもたちに予防接種を受けさせるところを見せたり、経口ワクチンを受け入れると発言してくれるだけで、予防接種活動をよりスムーズに進められるとフンショさんは話します。

できるだけ多くの子どもたちに予防接種を受けてもらえるよう、医療従事者やセキュリティ会社と協力している現地のロータリアン。情勢が不安定なボルノ州やヨベ州を行き来する子どもたちが予防接種を受けているか確認するシステムや、これらの地域に2日未満滞在して、スピーディに予防接種を行う方策も確立しています。

撲滅への認識を高め、ポリオのないナイジェリアへ

ナイジェリアのポリオプラス委員会は、看板やポスターを設置してポリオ撲滅への認識を高め、予防接種従事者を見つけやすいよう、お揃いのTシャツ、帽子、エプロンも用意しています。

さらに、国民的ミュージシャンや俳優などを起用し、特に予防接種への抵抗が強い地域での認識向上をはかっています。

4月、ナイジェリアの保健省とロータリーが協力し、ナイジェリア・ポリオサミットが開催されました。高リスク地域の州知事、宗教リーダー、国や国際レベルで活躍する保健関係者、ロータリー会員などが集い、ポリオのないナイジェリアを目指すためのベストプラクティスが紹介されました。

フンショさんをはじめとする関係者は、2014年末までにナイジェリアで野生ポリオウイルスの伝播を食い止められると期待しています。これは、ロータリーが主要パートナーとなっている世界ポリオ撲滅推進計画（GPEI）による「エンドゲーム戦略計画」の目標の一つでもあります。

「最大の課題は、2015年の選挙」と話すのは、ポリオ撲滅活動における専門家審査委員会の委員長であるオヤワル・トモリさんです。

「2003年以来、選挙があるたびに、ガバナンスが崩れ、結果としてポリオの発生が増えてしまいました」

ナイジェリアで年内にポリオ撲滅への足がかりをつかめるよう、ロータリーはGPEIを通じて700万ドルを提供しています。この資金は、予防接種活動のほか、ナイジェリア国内での研究にあてられます。さらに、同国のビジネスリーダーで慈善家のエメカさん（アウカGRAロータリークラブ会員、ナイジェリアのポリオ大使）が、ポリオプラスに225万ドルの寄付を行いました。

「ナイジェリア政府は、国際社会の支援を後押しに、国内に蔓延する暴力、誘拐、テロをなくすために全力を尽くしている」とエメカさん。

「平和ならポリオ撲滅活動もずっと容易になりますが、だからといって平和を待っているわけにはいきません。ポリオをなくすために今できることをしなければならないのです」



子どもたちが家におらず、再訪問が必要であることを書き記すポリオ予防接種ボランティア（ナイジェリア、カノにて）

ロータリー・ニュース

社会貢献のためにペダルを踏む

50歳を迎えたロータリー会員のキース・ハリスさんが、自転車での北米横断に挑戦。その目的は、助けを必要とする人たちのための募金を集め、自身も心臓手術を受けた地元病院への支援を募ることです。（*1）

「“中年の危機”といわれる心理が働いたのかも」と冗談めかすキースさんですが、今から20年前、ご夫人のクリスティーナさん（ロータリー会員）と結婚する前にも、北米横断に挑戦したそうです。

ロータリー会員歴18年のキースさん。クラブ会長や、地区ロータリー財団委員長を7年間も務め、ロータリーはご夫妻にとって「人生の一部」だと話します。

「ロータリーは私にとって大きな存在。新聞の見出しに載るような活動に関与したり、容易にはお会いできないような人たちと交流したりできました」

自転車での旅には出会いが付きもの。通過する町のロータリー会員と一緒に行動したり、自転車愛好家の団体と交流したりすることもあります。

出発日は6月9日、開始地点は西海岸の街シアトル。スタート時に自転車の後輪を太平洋の水につけ、東海岸の街ニューベリーポートに到着した時に、前輪を大西洋の水につけるといった粋な計画も立てています。

「“普通じゃない”ことへの挑戦を通じて、人びとと出会い、行動を促したい」と話すキースさん。「みんな、心の底では自分も何かしたいと思っているはず。この旅で、新しい視点で行動するきっかけを与えられれば、と思っています」

キースさんは、20年前と同じ自転車で横断に挑みます。既に、サポーターから22,850ドルの支援が寄せられています。

（*1） 記者注記：欧米では、慈善目的のためにマラソンや過酷なレースに参加して、サポーターや応援者から募金を集める活動が盛んに行われています



ロータリー・ニュース

◎次週 8月15日は休会

次回《8月22日》の卓話予定

テーマ「経営者のためのメンタルヘルス問題」

オフィス秋山・秋山総合心理研究所 代表 秋山 幸子 様

（紹介者 佐藤 勝彦 会員）